

平成29年度 事業計画

1 はじめに

本年は、大津市シルバー人材センター中期事業計画の最終年（3年目）にあたります。中期計画の目標値のうち、利益項目につきましては、28年度において達成の見込ですが、他の項目（契約高、会員数、就業率）につきましては、残念ながら苦戦を強いられております。

しかし、本年度は次なる長期事業計画への橋渡しの年でもあります。本年が次期計画の強固な土台になるよう、会員・役員・事務局の総力を挙げて、安定的な運営基盤の維持・確立を図り、センター事業の発展を目指してまいります。

2 基本方針

シルバー人材センターが目指す「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、次の三つを基本方針として事業運営を推進します。

- (1) 会員・役員・事務局が一致協力して事業の発展に努めます
- (2) 高齢者の仕事を通じた社会参加による生きがいづくりを推進します
- (3) 地域社会に根ざしたシルバー人材センターとしての地位を確立します

3 重点目標

- (1) 健全な経営基盤の構築
- (2) 就業機会の拡大と開拓
- (3) 会員の増強と育成
- (4) 組織の充実

4 目標達成に向けた具体策

(1) 健全な経営基盤の構築

① 人事制度の総合的見直し

- イ. 職員就業規程、嘱託職員就業規程、臨時職員就業規程の改定
- ロ. 将来を見据えた人事制度及び採用計画のあり方についての検討に着手

②請負就業のあり方の見直し～完全請負化を目指して

- イ. 積算基礎単位、配分金、見積書等の見直し
- ロ. 班長、副班長、班メンバー等の役割の明確化

③福祉事業運営体制の再構築

- イ. 介護保険事業制度改正に対応する体制構築
- ロ. 子育て支援事業の就業開拓による受注拡大
- ハ. 訪問介護を軸とした他職種との相乗効果による受注拡大
- ニ. 福祉部会、福祉班の役割明確化と事務局との協力関係の再整備
- ホ. ヘルパー会員の確保と育成

④健全な財務基盤の構築

- イ. 職種別収支分析の精度向上～計算を可能にするデータ入力の検討
- ロ. 不採算事業の仕組みの再構築
- ハ. 事務局各課の事務効率向上と経費の効果的使用による収益確保
- ニ. 事務費の見直し：現行10%を10%～15%に

(2) 就業機会の拡大と開拓

①市役所各部署、企業等への積極的訪問による新規就業機会の確保

イ. 大津市小中学校55校のトイレ清掃事業獲得に向けた技術開発と就業体制の構築

- ロ. 空き家対策事業獲得に向けたメニュー開発と広報対策の検討
- ハ. 家具転倒防止器具取り付けのスキルを活かした事業拡大の検討

②生活・子育て支援、くらしの便利屋等既存事業のメニュー開発と就業会員確保ならびに技術向上支援

③安全・適正就業の推進と就業機会の公平化

- イ. 安全就業意識啓発の強化と安全・安心な就業体制づくりの推進
- ロ. 分かち合い就業を推進し、就業機会の公平化を図る

(3) 会員の増強と育成

①新入会員の獲得

- イ. 入会説明会の開催場所、内容の見直し
- ロ. 入会前の就業見学会開催の検討
- ハ. 広報活動の活性化

②新入会員の育成

- イ. 希望職種別説明会の定期的開催
- ロ. 職員同行による就業見学会の実施
- ハ. 作業見習いによる技術の向上～見習い配分金の検討
- ニ. 入会6ヵ月後会員の状況把握と就業支援の実施

③既存会員の育成

- イ. 技能・技術向上を目的とする講習会の定期的開催
- ロ. 就業会員間の情報共有のため職群班会議の開催検討

④職群班長後継者の育成

- イ. 班長後継者育成の実施計画策定
- ロ. 現場下見への同行による副班長等への見積り技術の継承

⑤広報、啓発活動の充実

- イ. 広報誌の充実
- ロ. 的を絞ったチラシの作成と有効活用
- ハ. 関係機関との連携強化によるシルバー人材センター活動の周知拡大

(4) 組織の充実

- ①事務局体制の機能強化による会員就業環境の整備推進
- ②地域委員会を中心とするボランティア活動の実施等、会員の地域貢献活動への積極的参加の推進
- ③運営組織の充実、活性化を目的とする理事、各正副委員長、正副班長との交流会の実施
- ④サークル活動など会員組織の活性化による会員相互の交流・親睦の充実
- ⑤公益社団法人として関係法令の遵守と関係機関との連携強化